

新木場UMIDOKOプロジェクト

瀧口木材(株)

瀧口宇一郎

お世話になっております。瀧口木材の瀧口宇一郎と申します。ご存知いただいている方は引き続き、お初にお目にかかる方は今後とも、よろしく願いいたします。

現在、私は材木屋・建築家有志のチームで、貯木場に木をもう一回浮かべよう！最後は海に浮いた木の家を並べてホテル、レストランなどの集合した「水上の木の家」を作ろうという「新木場UMIDOKOプロジェクト」という活動をしています。



2017年10月8日

イカダ上での茶道会（遠州流茶道）

各種イベント事などで、周囲の方、業界の方にご迷惑をおかけしたり、また、私に不穩分子のような印象をもたれるかたもいらっしゃると思うのですが、私は「新木場ごと木を売りたい」と考えこの活動をしています。

「新木場ごと木を売る」というのは、木の町新木場という伝統と、電車が三路線はいる利便性、駅から近い貯木場海水面などの地理的な優位を活かした「新木場でしかできない木質施設」をつくり、そこに来たお客様に木造、木質内装（だけでなく他の催し、デザイン、ライフスタイルなども含めて）を体感いただき、それを木製品・建築の拡販・PRにつなげていく。ということです。

そして「新木場でしかできない木質施設」とは、水に浮く木の家が並ぶフローティングビレッジ“新木場 海床（うみどこ）”だと考えています。

無謀なことかと思われる方が多くいらっしゃると思いますが、近年、木材利用で注目の集まっているCLTも法律の無いところからはじまり、いまでは木造建築界での希望の星のような扱われ方をしています。規制があることや、前例がないというのは行動しない理由にはなりません。

また、貯木場でのフローティングハウス構想は、大阪、平林で15年ほど前にすでに実践されており、技術的には可能です。法律関連も、近年では水辺の利用について国交省、東京都、江東区もテーマとして取り上げており、まだ河川周りのみですが、国交省「かわまちづくり」東京都「かわてらす」「運河ルネサンス」という各種の規制緩和が始まっており、素地は整いはじめているのかと思います。

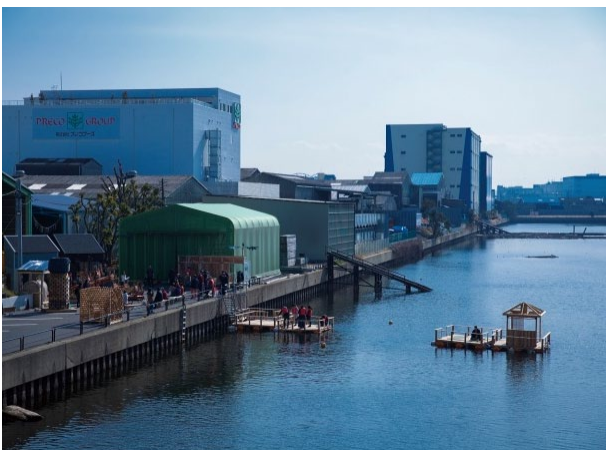
現在はいろいろなイベントを行っていますが、すべて「新木場ごと木を売る」一環で、各回に木材を利用した展示、仕掛けを散りばめています。また、東京都港湾局、海上保安庁の許可を得て海にイカダを浮かばせ、少しでも海に木の浮いた風景に近づけようとしています。



2018年10月8日
木のファッションショー



2017年10月8日
建築家によるアート作品



2018年2月11日
イカダ含む会場遠景



2018年2月11日
イカダ上での茶道会（遠州流茶道）

イベントは単に開催して終わっているのではなく、来場された方への木材の販売、開催後には江東区から講演の依頼がありと、実際に仕事にも繋がっています。また、NHKからの新木場UMIDOKOプロジェクトへの取材の依頼が、他の材木屋さんへの取材に発展したり、微力ながら、皆様のPRにもお役に立てているかと思えます。

UMIDOKOプロジェクトでのイベントは来場者が多く、東京都からの助成もいただき、はじめてから2年にしては順調に推移をしており、2018年のウッドデザイン賞も受賞いたしました。しかし、肝心の水上の木造建築にいたるには、やはり法規制が多く、ここから先の発展には、地域の皆様にご協力いただくことや、行政との協業が不可欠です。

現在、短期的な目標を

- ・新木場に、もうすこし海が近くなる設備の設置(栈橋、スロープなど)
- ・実験的な水上建築を試みるため、プールなどの安定した水面探し
- ・規制緩和のための協力者募集・広報

として活動をしています。

上記課題に対し皆様のお知恵をお借りしたく、また、お力添えをお願いしたい次第です。

新しい木の町新木場の風景とともに、木材を売っていきましょう。
よろしく願いいたします。

新木場UMIDOKOプロジェクト 掲載メディアなど

- ・雑誌 『東京人』 2018年3月号“まちの仕掛け人たち”
- ・Tokyo FM ラジオ 「TOKYO FM Blue ocean スマイルナビ」 2018年1月30日放送分
- ・江東ケーブルテレビ 「江東ワイドスクエア」2月18日放映分

<https://www.city.koto.lg.jp/011501/kmovie/wide-square/20180218.html>

- ・2018年 ウッドデザイン賞 受賞